



Cisco Unified IP Phone の リモート モニタ

Cisco Unified IP Phone には、電話機に関する次のような情報を表示できる Web ページがあります。

- デバイス情報
- ネットワーク構成情報
- ネットワーク統計情報
- デバイス ログ
- ストリーム統計情報

この章では、電話機の Web ページから取得できる情報について説明します。この情報を使用して、リモートで電話機の操作をモニタしたり、トラブルシューティングを支援したりすることができます。

この情報の大部分は、電話機から直接取得することもできます。詳細については、[第 7 章「Cisco Unified IP Phone でのセキュリティ情報、モデル情報、ステータス、および統計情報の表示」](#)を参照してください。

Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズのトラブルシューティングの詳細については、[第 9 章「トラブルシューティングおよびメンテナンス」](#)を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [電話機の Web ページへのアクセス \(P.8-2\)](#)
- [Web ページへのアクセスの無効化および有効化 \(P.8-4\)](#)

- デバイス情報 (P.8-5)
- ネットワークの設定 (P.8-6)
- ネットワーク統計 (P.8-12)
- デバイスログ (P.8-15)
- ストリームの統計 (P.8-16)

電話機の Web ページへのアクセス

Cisco Unified IP Phone の Web ページにアクセスするには、次の手順を実行します。



(注)

Web ページにアクセスできない場合は、アクセスが無効になっている可能性があります。詳細については、[P.8-4 の「Web ページへのアクセスの無効化および有効化」](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 次のいずれかの方法で、Cisco Unified IP Phone の IP アドレスを取得します。

- Cisco Unified CallManager で **Device > Phone** を選択して、電話機を検索します。Cisco Unified CallManager に登録された電話機は、Phone Configuration Web ページの上部に IP アドレスが表示されます。
- 電話機で **設定** ボタンを押して、[**ネットワークの設定**] を選択した後、[IP アドレス] オプションまでスクロールします。

ステップ 2 Web ブラウザを開いて、次の URL を入力します。ここで、*IP_address* は、Cisco Unified IP Phone の IP アドレスです。

`http://IP_address`

Cisco Unified IP Phone 7970 シリーズの Web ページには、次のハイパーリンクが含まれています。

- **デバイス情報**：デバイス設定と電話機に関連する情報を表示します。詳細については、[P.8-5 の「デバイス情報」](#)を参照してください。
- **ネットワークの設定**：ネットワーク構成情報と電話機の他の設定に関する情報を表示します。詳細については、[P.8-6 の「ネットワークの設定」](#)を参照してください。
- **ネットワーク統計**：ネットワーク トラフィックに関する情報を提供する次のハイパーリンクが含まれます。
 - **イーサネット情報**：イーサネット トラフィックに関する情報を表示します。詳細については、[P.8-12 の「ネットワーク統計」](#)を参照してください。
 - **アクセス**：電話機の PC ポートとの間のネットワーク トラフィックに関する情報を表示します。詳細については、[P.8-12 の「ネットワーク統計」](#)を参照してください。
 - **ネットワーク**：電話機のネットワーク ポートとの間のネットワーク トラフィックに関する情報を表示します。詳細については、[P.8-12 の「ネットワーク統計」](#)を参照してください。
- **デバイスログ**：トラブルシューティングに使用できる情報を提供する、次のハイパーリンクが含まれます。
 - **コンソールログ**：個々のログ ファイルへのハイパーリンクが含まれます。詳細については、[P.8-15 の「デバイスログ」](#)を参照してください。
 - **コアダンプ**：個々のダンプ ファイルへのハイパーリンクが含まれます。
 - **ステータスメッセージ**：前回の電源投入以降に電話機が生成した最近のステータス メッセージを最大 10 件まで表示します。詳細については、[P.8-15 の「デバイスログ」](#)を参照してください。
 - **デバッグの表示**：トラブルシューティングにおいてサポートを必要とする場合に、Cisco TAC の支援を受ける際に役立つメッセージを表示します。詳細については、[P.8-15 の「デバイスログ」](#)を参照してください。
- **ストリームの統計**：さまざまなストリーム統計情報を表示する [\[ストリーム 1\]](#)、[\[ストリーム 2\]](#)、および [\[ストリーム 3\]](#) のハイパーリンクが含まれます。詳細については、[P.8-16 の「ストリームの統計」](#)を参照してください。

Web ページへのアクセスの無効化および有効化

セキュリティ上の目的で、電話機の Web ページにアクセスできないように選択する場合があります。その場合、この章で説明した Web ページと電話機のユーザ オプション Web ページへのアクセスを禁止します。

電話機の Web ページへのアクセスを無効にするには、Cisco Unified CallManager Administration で次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** **Device > Phone** を選択します。
 - ステップ 2** 電話機を検索する条件を指定して、**Find** をクリックします。または、**Find** をクリックして、すべての電話機のリストを表示します。
 - ステップ 3** デバイス名をクリックすると、該当するデバイスの Phone Configuration ウィンドウが開きます。
 - ステップ 4** Web Access ドロップダウン リスト ボックスで、**Disabled** を選択します。
 - ステップ 5** **Update** をクリックします。



(注) Web ページへのアクセスが無効になると、Cisco Quality Report Tool などの一部の機能は正しく動作しなくなります。また、Web アクセスを無効にすると、CiscoWorks などの Web アクセスを利用するサービスアプリケーションにも影響します。

無効になっている Web ページアクセスを有効にするには、上記のアクセスの無効化手順を参照してください。同じ手順を実行しますが、Web ページを有効にするには、**ステップ 4** で **Enabled** を選択します。

デバイス情報

電話機の Web ページの [デバイス情報] 領域には、デバイス設定と電話機に関連する情報が表示されます。表 8-1 で、これらの項目について説明します。

[デバイス情報] 領域を表示するには、P.8-2 の「電話機の Web ページへのアクセス」の説明どおりに電話機の Web ページにアクセスし、[デバイス情報] ハイパーリンクをクリックします。

表 8-1 [デバイス情報] 領域の項目

| 項目 | 説明 |
|----------------|--|
| MAC アドレス | 電話機のメディア アクセス制御 (MAC) アドレス。 |
| ホスト名 | 電話機に割り当てられた DHCP サーバのホスト名。 |
| 電話番号 | 電話機に割り当てられた電話番号。 |
| アプリケーションロード ID | 電話機で動作しているファームウェアの識別子。 |
| 起動ロード ID | 電話機で動作しているインストール済みロードの識別子。 |
| バージョン | 電話機で動作している起動ロードのバージョン。 |
| 拡張モジュール 1 | 電話機に接続されている場合は、1 番目の Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールの電話機のロード ID。 |
| 拡張モジュール 2 | 電話機に接続されている場合は、2 番目の Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールの電話機のロード ID。 |
| ハードウェアのリビジョン | 電話機のハードウェアのバージョン。 |
| シリアル番号 | 電話機のシリアル番号。 |
| モデル番号 | 電話機のモデル番号。 |
| メッセージ受信 | この電話機の回線上で受信したボイス メッセージがあるかどうかを示します。 |

ネットワークの設定

電話機の Web ページ上の [ネットワークの設定] 領域には、ネットワーク構成情報と電話機のその他の設定情報が表示されます。表 8-2 で、この情報について説明します。

これらの項目の多くは、Cisco Unified IP Phone の [ネットワークの設定] メニューおよび [デバイス設定] メニューで表示および設定できます。詳細については、第 5 章「機能、テンプレート、サービス、およびユーザの設定」を参照してください。

[ネットワークの設定] 領域を表示するには、P.8-2 の「電話機の Web ページへのアクセス」の説明どおりに電話機の Web ページにアクセスし、[ネットワークの設定] ハイパーリンクをクリックします。

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目

| 項目 | 説明 |
|----------------|--|
| DHCP サーバ | 電話機が IP アドレスを取得する DHCP サーバの IP アドレス。 |
| BOOTP サーバ | 電話機がブートストラップ プロトコル (BootP) サーバから設定を取得するかどうかを示します。 |
| MAC アドレス | 電話機の MAC アドレス。 |
| ホスト名 | 電話機に割り当てられた DHCP サーバのホスト名。 |
| ドメイン名 | 電話機が常駐するドメイン ネーム システム (DNS) ドメインの名前。 |
| IP アドレス | 電話機のインターネットプロトコル (IP) アドレス。 |
| サブネットマスク | 電話機が使用するサブネット マスク。 |
| TFTP サーバ 1 | 電話機が使用するプライマリ TFTP サーバ。 |
| デフォルトルータ 1 ~ 5 | 電話機が使用するデフォルトルータ (デフォルトルータ 1) およびオプションのバックアップ ルータ (デフォルトルータ 2 ~ 5)。 |
| DNS サーバ 1 ~ 5 | 電話機が使用するプライマリ DNS サーバ (DNS サーバ 1) およびオプションのバックアップ DNS サーバ (DNS サーバ 2 ~ 5)。 |

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目 (続き)

| 項目 | 説明 |
|---------------------|---|
| Operational VLAN ID | 電話機が所属する Cisco Catalyst スイッチ上に設定された補助バーチャル LAN (VLAN)。 |
| Admin.VLAN ID | 電話機が所属する補助 VLAN。 |
| CallManager1 ~ 5 | <p>電話機を登録できる Cisco Unified CallManager サーバのホスト名または IP アドレス (優先順位の昇順)。この項目では、Cisco Unified CallManager の限定機能を提供できる Survivable Remote Site Telephony (SRST) ルータが使用可能な場合、そのルータの IP アドレスも表示できます。</p> <p>使用可能なサーバに対し、Cisco Unified CallManager サーバの IP アドレスと次のいずれかの状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ：現在電話機にコール処理サービスを提供している Cisco Unified CallManager サーバ。 • スタンバイ：現在のサーバが利用できなくなった場合に電話機が切り替える Cisco Unified CallManager サーバ。 • ブランクの場合：この Cisco Unified CallManager サーバには現在何も接続されていません。 <p>オプションには、SRST の指定が含まれる場合もあります。これは、Cisco Unified CallManager の限定機能セットを提供できる SRST ルータを示しています。このルータは、その他のすべての Cisco Unified CallManager サーバが使用できなくなった場合のコール処理の制御を担います。SRST Cisco Unified CallManager は、アクティブである場合でも、常にサーバのリストの最後に表示されます。SRST ルータ アドレスは、Cisco Unified CallManager の Device Pool セクションで設定します。</p> |
| 情報 URL | 電話機に表示されるヘルプ テキストの URL。 |
| ディレクトリ URL | 電話機がディレクトリ情報を取得するサーバの URL。 |

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目 (続き)

| 項目 | 説明 |
|----------------|--|
| メッセージ URL | 電話機がメッセージ サービスを取得するサーバの URL。 |
| サービス URL | 電話機が Cisco Unified IP Phone サービスを取得するサーバの URL。 |
| DHCP を使う | 電話機が DHCP を使用しているかどうかを示します。 |
| DHCP アドレスを解放する | 電話機の [ネットワークの設定] メニューの [DHCP アドレスを解放する] オプションの設定を示します。 |
| 代替 TFTP | 電話機が代替 TFTP サーバを使用しているかどうかを示します。 |
| アイドル URL | [URL のアイドル時間] で指定された時間内に電話機が使用されず、メニューが開かれていない場合に電話機が表示する URL。 |
| URL のアイドル時間 | 何秒間電話が使用されず、メニューが開かれなかった場合に、[アイドル URL] で指定した XML サービスを起動するかを示します。 |
| プロキシサーバの URL | 電話機の HTTP クライアントに代わってローカルでないホストアドレスに HTTP 要求を行い、ローカルでないホストからの応答を電話機の HTTP クライアントに提供するプロキシサーバの URL。 |
| 認証 URL | 電話機の Web サーバに対して行った要求を検証するために、電話機が使用する URL。 |

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目 (続き)

| 項目 | 説明 |
|------------|---|
| SW ポート設定 | <p>スイッチ ポートの速度とデュプレックス モード。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A : 自動ネゴシエーション • 10H : 10-BaseT/ 半二重 • 10F : 10-BaseT/ 全二重 • 100H : 100-BaseT/ 半二重 • 100F : 100-BaseT/ 全二重 • 1000H : 1000-BaseT/ 半二重 • 1000F : 1000-BaseT/ 全二重 • リンクがありません : スイッチ ポートへの接続がありません。 |
| PC ポート設定 | <p>スイッチ ポートの速度とデュプレックス モード。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A : 自動ネゴシエーション • 10H : 10-BaseT/ 半二重 • 10F : 10-BaseT/ 全二重 • 100H : 100-BaseT/ 半二重 • 100F : 100-BaseT/ 全二重 • 1000H : 1000-BaseT/ 半二重 • 1000F : 1000-BaseT/ 全二重 • リンクがありません : スイッチ ポートへの接続がありません。 |
| TFTP サーバ 2 | <p>プライマリ TFTP サーバが使用できない場合に電話機が使用するバックアップ TFTP サーバ。</p> |
| ユーザロケール | <p>電話機のユーザに関連付けられたユーザ ロケール。言語、フォント、日付と時刻の形式、英数字キーボードのテキスト情報など、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を識別します。</p> |

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目 (続き)

| 項目 | 説明 |
|-----------------|--|
| ネットワークロケール | 電話機のユーザに関連付けられたネットワーク ロケール。電話機が使用するトーンと断続周期の定義など、特定の場所で電話機をサポートするための一連の詳細情報を識別します。 |
| ヘッドセットを使う | 電話機のヘッドセット ボタンが有効かどうかを示します。 |
| ユーザロケールバージョン | 電話機にロードされたユーザ ロケールのバージョン。 |
| ネットワークロケールバージョン | 電話機にロードされたネットワーク ロケールのバージョン。 |
| PCポートを無効にする | 電話機の PC ポートが有効か、または無効かを示します。 |
| スピーカを使う | 電話機のスピーカフォンを有効にするかどうかを示します。 |
| GARP を使う | 電話機が Gratuitous ARP 応答から MAC アドレスを取得するかどうかを示します。 |
| ビデオ機能を使う | 適切に装備された PC に接続されている場合に、電話機がビデオ コールに参加するかどうかを示します。 |
| ボイス VLAN を使う | PC ポートに接続されたデバイスが電話機でボイス VLAN にアクセスできるかどうかを示します。 |
| 自動回線選択を使う | 電話機がすべての回線の着信コールにコール フォークラスをシフトするかどうかを示します。 |
| 通話制御の DSCP | コール制御シグナリングに使用される DSCP IP 分類。 |
| 設定の DSCP | 電話機の設定を転送するために使用される DSCP IP 分類。 |
| サービスの DSCP | 電話機ベースのサービスに使用される DSCP IP 分類。 |
| セキュリティモード | 電話機に設定されているセキュリティ モードを表示します。 |
| Web アクセス可能 | 電話機で Web アクセスが有効 (Yes) か無効 (No) かを示します。 |

表 8-2 [ネットワークの設定] 領域の項目 (続き)

| 項目 | 説明 |
|-------------|--|
| PC ポートへのスパン | 電話機がネットワーク ポートで送信および受信したパケットをアクセス ポートに転送するかどうかを示します。 |
| PC VLAN | PC に送信されたパケットの 802.1P/Q タグを識別し、それを削除するために使用される VLAN。 |

ネットワーク統計

電話機の Web ページの [ネットワーク統計] 領域には、電話機のネットワークトラフィックに関する情報が表示されます。

- [イーサネット情報] 領域：イーサネットトラフィックに関する情報を表示します。表 8-3 で、この領域の項目について説明します。
- [アクセス] 領域：電話機の PC ポートとの間のネットワークトラフィックに関する情報を表示します。表 8-4 で、この領域の項目について説明します。
- [ネットワーク] 領域：電話機のネットワークポートとの間のネットワークトラフィックに関する情報を表示します。表 8-4 で、この領域の項目について説明します。

[ネットワーク統計] 領域を表示するには、P.8-2 の「電話機の Web ページへのアクセス」の説明どおりに電話機の Web ページにアクセスし、[イーサネット情報]、[アクセス]、または [ネットワーク] ハイパーリンクをクリックします。

表 8-3 [イーサネット情報] 領域の項目

| 項目 | 説明 |
|---------------|--------------------------------|
| Tx Frames | 電話機が送信したパケットの総数。 |
| Tx Broadcast | 電話機が送信したブロードキャストパケットの総数。 |
| Tx Multicast | 電話機が送信したマルチキャストパケットの総数。 |
| Tx Unicast | 電話機が送信したユニキャストパケットの総数。 |
| Rx Frames | 電話機が受信したパケットの総数。 |
| Rx Broadcast | 電話機が受信したブロードキャストパケットの総数。 |
| Rx Multicast | 電話機が受信したマルチキャストパケットの総数。 |
| Rx Unicast | 電話機が受信したユニキャストパケットの総数。 |
| RxPacketNoDes | DMA 記述子が欠落していたために廃棄されたパケットの総数。 |

表 8-4 [アクセス] 領域および [ネットワーク] 領域の項目

| 項目 | 説明 |
|-------------------|---|
| Rx totalPkt | 電話機が受信したパケットの総数。 |
| Rx crcErr | CRC に失敗した受信パケットの総数。 |
| Rx alignErr | FCS が無効で、長さが 64 ~ 1,522 バイトの受信パケットの総数。 |
| Rx multicast | 電話機が受信したマルチキャストパケットの総数。 |
| Rx broadcast | 電話機が受信したブロードキャストパケットの総数。 |
| Rx unicast | 電話機が受信したユニキャストパケットの総数。 |
| Rx shortErr | サイズが 64 バイト未満で、受信した FCS エラーパケットまたは Align エラーパケットの総数。 |
| Rx shortGood | サイズが 64 バイト未満の、受信した有効なパケットの総数。 |
| Rx longGood | サイズが 1,522 バイトより大きい、受信した有効なパケットの総数。 |
| Rx longErr | サイズが 1,522 バイトより大きい、受信した FCS エラーパケットまたは Align エラーパケットの総数。 |
| Rx size64 | 無効なパケットを含め、サイズが 0 ~ 64 バイトの受信パケットの総数。 |
| Rx size65to127 | 無効なパケットを含め、サイズが 65 ~ 127 バイトの受信パケットの総数。 |
| Rx size128to255 | 無効なパケットを含め、サイズが 128 ~ 255 バイトの受信パケットの総数。 |
| Rx size256to511 | 無効なパケットを含め、サイズが 256 ~ 511 バイトの受信パケットの総数。 |
| Rx size512to1023 | 無効なパケットを含め、サイズが 512 ~ 1,023 バイトの受信パケットの総数。 |
| Rx size1024to1518 | 無効なパケットを含め、サイズが 1,024 ~ 1,518 バイトの受信パケットの総数。 |
| Rx tokenDrop | リソース不足（たとえば、FIFO オーバーフロー）が原因でドロップされたパケットの総数。 |

表 8-4 [アクセス] 領域および [ネットワーク] 領域の項目 (続き)

| 項目 | 説明 |
|------------------|--|
| Tx excessDefer | メディアが使用中だったために送信が遅れたパケットの総数。 |
| Tx lateCollision | パケット転送の開始後 512 ビット時間すぎてから衝突が起こった回数。 |
| Tx totalGoodPkt | 電話機が受信した有効なパケット (マルチキャスト、ブロードキャスト、ユニキャスト) の総数。 |
| Tx collisions | パケットの送信中に生じた衝突の合計回数。 |
| Tx excessLength | パケットの転送試行が 16 回に達したため、送信されなかったパケットの総数。 |
| Tx broadcast | 電話機が送信したブロードキャストパケットの総数。 |
| Tx multicast | 電話機が送信したマルチキャストパケットの総数。 |
| 近接デバイス ID | このポートに接続されているデバイスの ID。 |
| 近接 IP アドレス | 近接デバイスの IP アドレス。 |
| 近接ポート | 電話機が接続されている近接デバイス ポート。 |

デバイスログ

電話機の Web ページの [デバイスログ] 領域には、電話機のモニタとトラブルシューティングに役立つ情報が表示されます。

- **コンソールログ**：個々のログ ファイルのハイパーリンクが含まれます。コンソール ログ ファイルには、電話機が受信したデバッグ メッセージとエラーメッセージが含まれます。
- **コアダンプ**：個々のダンプ ファイルへのハイパーリンクが含まれます。
- **[ステータスメッセージ] 領域**：前回の電源投入以降に電話機が生成した最近のステータス メッセージを最大 10 件まで表示します。この情報は、電話機の [ステータスメッセージ] 画面にも表示できます。表 7-1 で、表示される可能性があるステータス メッセージについて説明します。

ステータス メッセージを表示するには、P.8-2 の「[電話機の Web ページへのアクセス](#)」の説明どおりに電話機の Web ページにアクセスし、[ステータスメッセージ] ハイパーリンクをクリックします。

- **[デバッグの表示] 領域**：トラブルシューティングにおいてサポートを必要とする場合に、Cisco TAC の支援を受ける際に役立つメッセージを表示します。

ストリームの統計

Cisco Unified IP Phone は、最大 3 台のデバイスとの間で、同時に情報をストリームできます。電話機は、通話中、あるいは音声またはデータの送受信サービスの稼働中に情報をストリームします。

電話機の Web ページの [ストリームの統計] 領域には、ストリームに関する情報が表示されます。ほとんどのコールは、1 つのストリーム (ストリーム 1) だけを使用しますが、コールによっては、2 つまたは 3 つのストリームを使用するものがあります。たとえば、割り込まれたコールはストリーム 1 およびストリーム 2 を使用します。

表 8-5 で、[ストリームの統計] 領域の項目について説明します。

音声品質メトリックの使用法の詳細については、P.9-23 の「[コールの音声品質のモニタリング](#)」を参照してください。

[ストリームの統計] 領域を表示するには、P.8-2 の「[電話機の Web ページへのアクセス](#)」の説明どおりに電話機の Web ページにアクセスし、[ストリーム 1]、[ストリーム 2]、または [ストリーム 3] ハイパーリンクをクリックします。

表 8-5 [ストリームの統計] 領域の項目

| 項目 | 説明 |
|----------|---|
| ドメイン | 電話機のドメイン。 |
| リモートアドレス | ストリームの宛先の IP アドレス。 |
| ローカルアドレス | 電話機の IP アドレス。 |
| 送信者の参加 | 電話機がストリームの送信を開始した回数。 |
| 受信者の参加 | 電話機がストリームの受信を開始した回数。 |
| バイト | 電話機がストリームの送信を停止した回数。 |
| 開始時間 | Cisco Unified CallManager が電話機のパケット送信の開始を要求した時刻を示す内部タイム スタンプ。 |
| ステータス | 電話機がストリーミング中かどうかを示します。 |
| ホスト名 | 電話機のホスト名。 |
| 送信パケット | 電話機が送信したパケットの総数。 |
| 送信オクテット | 電話機が送信したオクテットの総数。 |

表 8-5 [ストリームの統計] 領域の項目 (続き)


| 項目 | 説明 |
|------------------|---|
| 送信ツール | ストリームに利用される音声符号化の種類。 |
| 送信レポート | Web ページからこのストリームの統計レポートにアクセスされた回数 (電話機のリセット時にリセットされます)。 |
| 送信レポート時間 | このストリームの統計レポートが生成された時刻を示す内部タイム スタンプ。 |
| 送信開始時間 | ストリームが開始された時刻。 |
| 受信喪失パケット | 失われたパケットの総数。 |
| 受信ジッタ | ストリームの最大ジッタ。 |
| 受信ツール | ストリームに利用される音声符号化の種類。 |
| 受信レポート | Web ページからこのストリームの統計レポートにアクセスされた回数 (電話機のリセット時にリセットされます)。 |
| 受信レポート時間 | このストリームの統計レポートが生成された時刻を示す内部タイム スタンプ。 |
| 受信パケット | 電話機が受信したパケットの総数。 |
| 受信オクテット | 電話機が受信したオクテットの総数。 |
| 受信開始時間 | Cisco Unified CallManager が電話機のパケット受信の開始を要求した時刻を示す内部タイム スタンプ。 |
| 音声品質メトリック | |
| MOS LQK | <p>Listening Quality (LQK; リスニング品質) を 5 (優良) から 1 (不良) の間で評価する Mean Opinion Score (MOS; 平均オピニオン評点) を客観的に見積もったスコア。このスコアは、音声ストリームに先行する 8 秒間インターバルにおけるフレーム損失に起因する音声秘匿イベントに基づいています。詳細については、P.9-23 の「コールの音声品質のモニタリング」を参照してください。</p> <p> (注) MOS LQK スコアは、Cisco Unified IP Phone が使用するコーデックの種類によって異なります。</p> |

表 8-5 【ストリームの統計】領域の項目（続き）

| 項目 | 説明 |
|----------------|---|
| 平均 MOS LQK | 音声ストリーム全体を対象に観測された平均 MOS LQK スコア。 |
| 最小 MOS LQK | 音声ストリームの開始以降に観測された最小 MOS LQK スコア。 |
| 最大 MOS LQK | 音声ストリームの開始以降に観測されたベースラインまたは最大 MOS LQK スコア。 これらのコーデックは、フレーム損失のない正常な状態で、次の最大 MOS LQK スコアを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • G.711 は 4.5 • G.729 A /AB は 3.7 |
| MOS LQK のバージョン | MOS LQK スコアの算出に使用されるシスコ独自のアルゴリズムのバージョン。 |
| 累積秘匿率 | 音声ストリームの開始から受信した音声フレームの総数で秘匿フレームの総数を割った比率。 |
| 間隔秘匿率 | アクティブな会話に先行する 3 秒間インターバルにおける秘匿フレームと音声フレームの比率。Voice Activity Detection (VAD; 音声アクティビティ検出) を使用している場合、3 秒間に相当するアクティブな会話を蓄積するために、より長いインターバルが必要となることがあります。 |
| 最大秘匿率 | 音声ストリームの開始以降の最大間隔秘匿率。 |
| 秒数を秘匿 | 音声ストリームの開始以降、秘匿イベント（フレームの損失）がある秒数（[厳密に秒数を秘匿] の値を含む）。 |
| 厳密に秒数を秘匿 | 音声ストリームの開始以降、5% を超える秘匿イベント（フレームの損失）を持つ秒数。 |